

「理工学部物理学科の3つのポリシー」

[アドミッション・ポリシー] 入学者受け入れの方針

1. 理学と工学に関する高度な専門知識を身に付けようとする意欲のある人を求める。
2. 自己表現としての国語力を持ち、倫理観と豊かな教養を身に付けようとする意欲のある人を求める。
3. 入学試験では、数学、理科、英語に対して十分な基礎学力を有していることを重視する。

[カリキュラム・ポリシー] 教育課程編成・実施の方針

1. 諸科学の基礎である理学の教育を推し進め、工学の基礎を磐石とする教育を展開し、各学科が定める教育目標を実現するための教育課程を編成する。
2. 基礎教育を磐石なものとするために2年次への進級条件を設け、かつ、単に専門知識や技術だけではなく強い倫理観と豊かな人間性をはぐくむ教育課程を実践する。
3. 基礎から応用までの幅広い知識を身に付けた専門家を育成するため、基礎科目(基幹基礎、専門基礎、関連専門基礎)、専門科目、一般科目(外国語、人間科学)、及び自由科目を適切に配置する。
4. 各学科では、科学技術の原理と応用を体系的に学べるようにカリキュラムを組み、実力向上を図るために演習や実験、実習の時間を豊富に設け、さらに幅広く学べるように、理学と工学の分野にとらわれず学科の枠を超えて自由に他学科の専門科目を履修できる体制を構築する。

[ディプロマ・ポリシー] 学位授与の方針

各学科所定の期間在学し、本学部の教育理念、各学科が定める教育目標に沿って編成された授業科目を履修して、所定の単位を修得することにより、次のような能力を身に付けた学生に対して卒業を認定し、学士(理学)又は学士(工学)の学位を授与する。

1. 各学科の学問分野における基礎的知識をもとに、それぞれの専門とする分野における原理と応用を体系的に身に付けている。
2. 学部教育を通じて修得した知識と訓練された思考力をもとに、自然科学・科学技術の分野のみならず社会における多様な情報を論理的に分析し、問題の発見、さらにはその解決に貢献しうる能力を有する。
3. 専門とする分野における十分な見識を礎として、社会及び自然環境に対して客観的判断をもとに責任ある態度をとることができる。